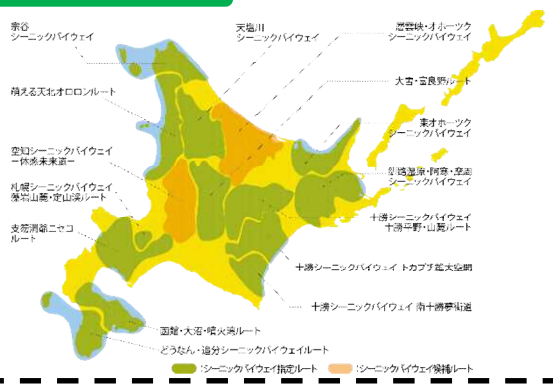
シーニックバイウェイ北海道

シーニックバイウェイ北海道は、みちをきっかけにつながった地域の人たちが、行政や企業などと連携し、自らの発案に基づいて、景観をはじめとした地域資源の保全・改善の取組を進めることにより、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取組で、現在は13の指定ルート、2つの候補ルートがあり、約400の団体が活動しています。

北海道開発局では地域の方々や関係機関と連携しながら、ルート運営に必要な情報発信等を推進しています。

ルート指定の状況　（2019年4月現在）



対象・支援内容など

●対象

◇対象地域
- ・北海道全域

◇活動内容
- ・競争力のある美しい個性的な北海道の実現に向けて実施される、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりに関わる活動。

◇提案ルート（ルートの提案は以下の2種類）

(1)シーニックバイウェイルート
シーニックバイウェイルートの指定を受けようとするルート
※基本的にシーニックバイウェイ候補ルートの登録を行っているルートが対象

(2)シーニックバイウェイ候補ルート
シーニックバイウェイルートの指定を受けることを前提として、今後、ルート運営活動計画の策定など積極的な活動を行っていこうとするルート

●提案者

・シーニックバイウェイ北海道の趣旨に賛同し、北海道内の任意の地域において景観その他の地域資源の保全・改善等に資する活動を行う複数の団体で構成される組織（代表者名にて提案）

●支援内容

・◇シーニックバイウェイルート
対象となる地域においてルート運営行政連絡会議が組織され、行政と連携した活動が速やかに実施できる。

◇シーニックバイウェイ候補ルート
ルート運営活動計画の骨子に記載された今後の取組に応じて、ルート運営活動計画の熟度を高めるための支援など。

シーニックバイウェイ北海道の意義・目標

意義
- ・地域への愛着・誇りの醸成
- ・旅の快適性の向上、ストレスの少ないツーリング環境の形成
- ・地域ブランドの形成

意義
- ・交流人口の拡大
- ・地域産業の振興
- ・地域における雇用の拡大

活動事例

■美しい景観づくり

活動団体や地域間の連携等により、沿道景観を魅力的にする活動。

●花植え美化活動

●そららの森の植栽活動

●景観改善の取組

電線を移設し、半蹄山を望む景観を大幅に改善

■活力ある地域づくり

地域資源を生かしたまちづくり、勉強会など、地域の誇りを育む活動。

●キャンドル製作体験会～シーニックｄｅナイト～による地域人材育成

事務局中心の活動から、ルートを主体的に運営できる人材の育成を行うことを目的に、企画実施・運営に関する講習を地域団体へ実施し、地域団体主導によるキャンドル製作体験会やシーニックdeナイトを開催。

■魅力ある観光空間づくり

旅行者の満足度向上を目指し、観光メニューの創出、イベントの実施、情報発信など。

●「きた北海道エコ・モビリティ」の推進

天塩川シーニックバイウェイと宗谷シーニックバイウェイが連携し、移動そのものが観光となる新しい旅のスタイルを提供する「きた北海道エコ・モビリティ」を広域で連携・推進し、モニターツアー（アクティビティ体験＋ＪＲ、自転車＋ＪＲ）を実施。